

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年12月21日

協議会名:今金町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社東ハイヤー	予約バス「ルンるん号」 八東・白石地区 金原・豊田地区 日進地区 田代・稲穂地区	・広報紙面やチラシの配布等を行い、利用促進を図った。 ・市街地エリアでの乗車を継続して実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 各路線で新型コロナウイルスの影響による利用減が見られるものの、昨年からの実施している乗車可能エリアの拡大により全体の利用者数は増加し、目標を達成した。 目標:3,600人/年 実績:3,712人/年(103%)	・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。 ・広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月21日

協議会名:	今金町地域公共交通確保維持改善協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今金町は北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村と、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、四方が山岳丘陵に囲まれた内陸地である。面積は568.25km²、人口は5,080人(令和2年10月末現在住民基本台帳)。</p> <p>人口のうち約2割が75歳以上の高齢者で、その割合はさらに増加することが予想されており、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。</p> <p>このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統(函館バス瀬棚線)に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、患者輸送バスやスクールバスの運行も併せて見直しながら、地域の生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>